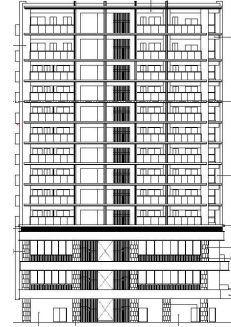


CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 福岡市南区高宮一丁目 新築工事	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市南区高宮一丁目2-1・3-1・4-1・5-1・6-1・7-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年09月 予定	評価の実施日	2025年05月24日
敷地面積	1,160 m ²	作成者	株式会社 日企設計 一級建築士事務所 取締役 森田 俊和
建築面積	625 m ²	確認日	2025年06月01日
延床面積	5,757 m ²	確認者	株式会社LANDICレジデンシャル 代表取締役 中山 朋幸



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE VALUE!

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能 5

Q1 室内環境 4

Q3 室外環境 (敷地内) 3

LR1 エネルギー 2

LR2 資源・マテリアル 2

LR3 敷地外環境 2

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア VALUE!

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。2.0%≦[昼光率]。庇とカーテンレールを組み合わせで制御。	Q2 サービス性能 給水VP(B)、排水VP(B)、給湯(C)、Eは不利用。評価方法基準で等級3相当。耐震クラスA。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。BEI=0.88	LR2 資源・マテリアル 断熱材、床材: ビニル床シート。LGS使用している。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が77%。駐車スペースの確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される